



# 復興支援ニュース

宮城県東部保健福祉事務所  
(宮城県石巻保健所)

Vol.56



平成28年4月

## 着任にあたって

4月から東部保健福祉事務所に着任しました高橋です。石巻地域の復興に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

「復興支援ニュース」は、平成23年7月の創刊以降、今回で第56号になります。今後の震災復興と生活再建支援に関する活動やトピックを中心に、保健福祉・環境衛生サイドからの情報を幅広くお届けしてまいります。

東日本大震災から5年が経過し、市町の震災復興計画に基づく街づくりや、復興住宅の建設が進み、恒久住宅への入居が本格化してきておりますが、いまだに多くの方が仮設住宅での生活を余儀なくされております。

被災者の皆様が、心身ともに健康な生活が送られるよう、関係機関や地域の方々との連携を図りながら、引き続き、仮設住宅・復興住宅での健康支援やコミュニティ形成のための支援を職員一同頑張っております。

「復興支援ニュース」が、被災者の皆様の生活はもとより、地域の復興支援の一助となりますよう努めてまいりますので、引き続きご愛顧よろしくお願いいたします。

宮城県東部保健福祉事務所長 たかはしたけひこ 高橋剛彦

## 作品の展示・交流の場となりました

3月4日(金)石巻合同庁舎で仮設・復興住宅にお住まいの方々を対象に住民作品展・交流会を開催しました。

これは、震災の影響で住み慣れた地域から転居してこられた方々に地域活動への参加の機会を提供する目的で、みやぎ心のケアセンター(石巻地域センター)と共同で開催しているものです。

当日は多くの方々にご参加いただき、手作り品や絵画の作品展示、折り紙やちぎり絵の体験、お茶のみやハンドマッサージといった交流をお楽しみいただきました。

今後も、住民の方々に交流の場を提供していきたいと考えております。



【住民が作成した作品】



【作品を鑑賞する住民の皆さん】

## 「医療と福祉の連携推進研修会」開催～今後の地域医療を考える～

3月4日（金）石巻グランドホテルで「医療と福祉の連携推進研修会～地域医療構想とこれからの地域医療のあり方について～」が石巻地区地域医療対策委員会の主催により開催されました。医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー及び行政機関等90名が参加しました。

最初に、石巻在宅医療・介護情報連携協議会事務局の阿部朋美氏から、同協議会が、患者を支えるために、在宅医療を行う診療所、薬局、訪問看護ステーション等がそれぞれ持っている情報を、システムを活用して共有する取り組みを行っているとの話題提供をいただきました。

続いて、特別講演として、東北大学医療管理学分野教授の藤森研司先生から、将来の医療需要や必要な病床数を推計する「地域医療構想」の概要や人口、高齢者数の長期的な見通しについて、また、レセプト（診療報酬）データを用いて、石巻圏域、さらに、市町別の医療の現状について県内の他圏域と比較しながら具体的な数値を基に講演いただきました。

参加者からは、医療従事者の都市部への偏在により地方での人材確保が難しい状況にあるなどたくさんの意見が出されました。



【阿部氏の講演】



【藤森先生の講演】

## ひとりで悩まずに こころの相談をしてみませんか

眠れない、気分が落ち込む、お酒がやめられない、家族がひきこもっている……などでお悩みの方に、当所では専門家による「こころの相談」を行っております。

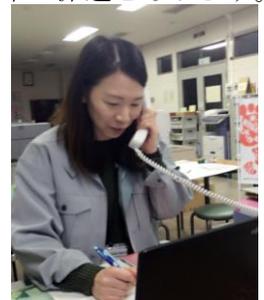
まずは、当所保健師にご連絡ください。

※事前予約制（電話：0225-95-1431）

内容	相談日	場所
精神保健 福祉相談	5月11日(水)	女川町保健センター
	5月25日(水)	牡鹿総合支所
	6月9日(木)	県石巻合同庁舎
アルコール 関係相談	5月20日(金)	県石巻合同庁舎
	6月17日(金)	
思春期・ ひきこもり相談	5月17日(火)	県石巻合同庁舎

## 新潟県派遣職員紹介

新潟県から派遣になりました、<sup>せきねあきこ</sup>関根綾希子です。石巻への派遣は、今回で2回目になります。前回は1ヶ月でしたが、今回は1年の派遣となります。1年をとおして、石巻の春夏秋冬を感じながら、地域のいいところをたくさん知りたいと思います。元気ががんばります！1年間お世話になりますが、どうぞよろしくお願ひします。



【関根保健師】

### 問い合わせ先

ご意見・ご感想をお寄せ下さい

宮城県東部保健福祉事務所

復興支援情報発信チーム

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/>

TEL: 0225-95-1416(代表)

Fax: 0225-94-8982